

ひだまりの家通信

vol.105
2023.11.30発行

良質な介護サービスの提供をめざして。

コロナ禍3年が この通りみんな元気でやっていますよ!



今晚お月さん出てくれるかな。T.S.さん、T.M.さん、M.K.さん、M.S.さん



晚ご飯食べたらお月さん窓から眺めましょうね。K.S.さん、A.O.さん、T.M.さん



新入居者様紹介



A.O.さん(86歳)
室蘭出身、お住まいは大沢町です。若い時は実家「洋裁仕立て店」のお仕事を手伝っていました。
ご主人は新日鐵で社会人野球の選手でした。
趣味は木彫り。

インフルエンザワクチン予防接種

11月23日、ひだまりの家のかかりつけ医、ふじかね内科医院(輪西町)藤兼正明Dr. が来訪され、全員にインフルエンザ予防ワクチン接種を行いました。
藤兼先生は熱がでた時などすぐに駆け付けてくれる頼もしい存在です。

「鈴木さん打ちますよ」今井看護師
「先生ぜんぜん痛くないわ」鈴木繁雄さん



13歳職員 私の趣味・特技

今井 友子

看護師

平成28年入社(勤続7年)



趣味と言ったら、以前はレースや毛糸など「編み物」に夢中になって、完成しては人にプレゼントなどしていました。最近やらなくなったのは年齢からでしょうか。10年程前主人が足の人工関節手術を行い、リハビリのためエアロバイクを購入しましたが、直ってやらなくなりました。今、私は体力増進、健康維持のためウォーキング(散歩)していますが、天気の悪い日や冬の季節には今度私が利用しています。

【仕事への抱負・意気込み】

早いものでひだまりの家にきて7年が経過しました。以前の仕事がこうして施設や入居者様のためにお役立っていること、嬉しく思うと同時に私自身感謝しています。入居様も高齢となりいろいろ身体の異状が現れます。その前に早期発見、いち早くかかりつけ医師に相談することが重要となります。そのためにはスタッフとコミュニケーションを密に連携を図ることに務めています。

第3回 運営推進会議

- ◆日時/11月15日(水) 14:00
- ◆会場/室蘭市民会館 2階小会議室

- 参加者
- ご家族) 伊藤 信行様(3階三戸功一様)
 - 地域) 田上 憲子様(御崎町会副町会長)
 - 地域包括支援センター母恋) 武田 智子様
 - ひだまりの家)
 - 藤枝 一郎(ケアマネジャー) 今井 友子(看護師)
 - 大野 真紀(社会福祉士) 加藤 栄吉(顧問)

コロナ禍が徐々に収束し「ポストコロナ」が叫ばれ、また以前の生活に戻つつある中、これからどのように復活、再生していくかが話し合われました。「まだ安心できない」の声も。最後に「虐待防止」についても討議されました。



遠赤外線 天井放射式暖房

ひだまりの家の暖房は「遠赤外線天井放射式暖房」といって、施設の全天井に「ターマレー放射パネル」が引きつめられています。健康にいい遠赤外線の放出により体の芯から暖まる暖房です。空気を汚さず、風もでない、火も使わない「省エネ・エコ暖房」です。

■天井放射暖房『ターマレー』

ターマレーパネルの構造

「ターマレー放射式天井パネル」による放射暖房装置はコントローラーで通電をオン・オフ制御をすることにより、24時間部屋全体を均一に暖め快適な室内環境をつくり出します。

天井放射暖房

天井からの放射熱は遮られる物が少ないため、部屋全体を暖めるのに効果的です。二次放射も併い部屋のすみずみまでムラのない暖かさが得られます。